「戴冠式」の魅力

久元 祐子

モーツァルト ピアノ協奏曲 第26番ニ長調 K.537

モーツァルティアン・フェライン12月例会（第387回）

橋詰 香菜

2018

12/16（日）

セレモアコンサートホール武蔵野

開演 15:00（開場 14:30）

一般 ¥3,500　会員 ¥3,000

全席自由

Message

モーツァルトのピアノ協奏曲の中でも人気の高い第26番ニ長調「戴冠式」を取り上げ、この曲の輝かしく堂々とした魅力に迫ります。オーケストラパートをピアノ演奏で担当してくださるのは、国立音楽大学大学院を最優秀賞で修了した若手精鋭、橋詰香菜さんです。どうぞご期待ください。

【主催】 モーツァルティアン・フェライン

【問い合わせ】 松永：090-1682-3496　高橋：090-4661-7525

©K.Sakayori

久元 祐子

Yuko Hisamoto

東京藝術大学を経て同大学院修士課程を修了。
ウィーン放送交響楽団、ラトビア国立交響楽団、読売日本交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、ウィーン・サロン・オーケストラ、ベルリン弦楽四重奏団など内外のオーケストラや合奏団と多数共演。知性と感性、繊細さとダイナミズムを兼ね備えたピアニストとして高い評価を受けている。音楽を多面的に捉えることを目指したレクチャー・リサイタルは朝日新聞・天声人語にも紹介される。

ブロードウッド（1820 年製）ベーゼンドルファー（1829 年製）、プレイエル（1843 年製）、エラール（1868 年製）などのオリジナル楽器を所蔵。歴史的楽器を用いての演奏会や録音にも数多く取り組み、それぞれの時代の中で作曲家が求めた響きと美学を追及する。ショパン生誕 200 年記念年には、全国各地でプレイエルを使っての演奏会に出演し軽井沢・大賀ホールにおいて天皇皇后両陛下ご臨席のもと御前演奏を行う。

2011 年ウィーンでのリサイタルが高い評価を受け、日本人で唯一ベーゼンドルファー・アーティストの称号を受ける。イタリア国際モーツァルト音楽祭にたびたび招かれリサイタルを開催。その模様はイタリア全土に放映され好評を博す。
これまでに CD13 作をリリース。「優雅なるモーツァルト」は、毎日新聞 CD 特薦盤、レコード芸術特選盤に選ばれ「ベートーヴェン：“テレーゼ”“ワルトシュタイン”」は、グラモフォン誌上で「どこからどう考えても最高のベートーヴェン」など高い評価を得る。園田高弘賞、毎日 21 世紀賞などを受賞。
著書に「モーツァルトのピアノ音楽研究」（音楽之友社）、「ショパンとプレイエル・ピアノ」「リストとベーゼンドルファー・ピアノ」（学研プラス）など多数。
国立音楽大学教授、ベーゼンドルファー・アーティスト。

久元 祐子 公式ウェブサイト
http://www.yuko-hisamoto.jp/

橋詰香菜

Kana Hashizume

国立音楽大学附属中学校、高等学校を経て、国立音楽大学音楽部演奏学科鍵盤楽器専修（ピアノ）を卒業、並びに鍵盤楽器ソリストコース修了。卒業時、武岡賞受賞。同大学院音楽研究修士課程修了。修了時、クロイツァー賞、最優秀賞を受賞。
皇居内桃華楽堂御前演奏会、第 86 回読売新人演奏会、第 42 回クロイツァー賞受賞者による演奏会等に出演。
また、国立音楽大学国内外研修奨学生としてムジークアルプ夏期国際音楽アカデミー参加。ブルーノ・リグット、ジャック・ルヴィエ、各氏のレッスンを受講し、アカデミーコンサートに出演。
第 15 回ヤングアーチストピアノコンクール銀賞。第 21 回日本クラシック音楽コンクール全国大会大学生部門第 5 位。これまでにピアノを出久根美由樹、三木香代の各氏に師事。

セレモアコンサートホール武蔵野

東京都立川市柏町1-26-4
0120-771121

【最寄駅】
多摩モノレール　泉体育館駅1番出口から徒歩約 10 分
砂川七番駅2番出口から徒歩約 11 分